

- 問1 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 | 2. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 | 3. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。 | 4. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 |
|---|--|---|--|
- 問2 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| 1. 肉用牛 | 2. 鶏 | 3. 乳用牛 | 4. 豚 |
|--------|------|--------|------|
- 問3 九州地方に位置するある県について、その統計データを見ると、面積は約4132平方キロメートルであるのに対し、海岸線の延長が4183キロメートルと極めて長く、全国でもトップクラスの長さとなっています。また、農業ではジャガイモの生産や畜産が盛んであるこの県はどこですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 神奈川県 | 3. 福岡県 | 4. 長崎県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問4 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|--|
| 1. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。 | 2. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。 | 3. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。 | 4. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。 |
|---|-------------------------------------|--|--|
- 問5 鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 一年を通じて温暖な気候を利用し、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。 | 2. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。 | 3. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。 | 4. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。 |
|--|--|--|---|
- 問6 人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。 | 2. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。 | 3. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。 | 4. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。 |
|---|---|--|--|
- 問7 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 有機農業 | 2. 近郊農業 | 3. 抑制栽培 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 九州地方の政治・経済の中核である福岡県の産業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、統計資料によれば、福岡県の2010年時点の製造品出荷額は5兆円から10兆円未満の規模にあり、1980年からの30年間で約41.4%増加しています。（2016年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 九州地方最大の工業県であるが、製造品出荷額の大部分は依然として戦前からの繊維工業や造船業などの軽工業によって占められている。 | 2. 県庁所在地の福岡市には政府の最先機関や企業の支店が集中し、工業面では近年、内陸部を中心に自動車工業などの組み立て型工業が発展している。 | 3. 北九州工業地帯が九州全域の製造品出荷額の9割以上を占めており、福岡市などの都市部には工業機能が一切存在しないという極端な偏りが見られる。 | 4. 1980年代から2010年にかけて製造品出荷額は減少を続けており、現在は製造業よりも広島県などの周辺県との貿易による仲継貿易が中心となっている。 |
|---|--|---|---|
- 問9 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。 | 2. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから | 3. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。 | 4. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。 |
|--|--|--|--|
- 問10 九州地方には、火山の噴火によって地表の物質が噴出したり、噴火後に地下のマグマが減少して中心部が陥没したりすることで形成された、広大な円形のくぼ地が見られます。このような地形を何と呼びますか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|--------|
| 1. 断層 | 2. カルデラ | 3. 盆地 | 4. 三角州 |
|-------|---------|-------|--------|
- 問11 九州地方に位置する鹿児島市の気候の特徴を、滋賀県彦根市と比較して説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。（2017年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 夏と冬の気温の差が小さく、年間の降水量は2000mmを超えており、特に梅雨の時期の降水量が多い。 | 2. 最暖月と最寒月の気温差が非常に大きく、1年を通して降水量は彦根市よりも少なく推移する。 | 3. 年間の降水量が1000mm程度と少なく、夏に雨が集中するため、冬は乾燥した気候が続く。 | 4. 夏と冬の気温の差が大きく、冬は北西の季節風の影響により、年間を通して降水量が平均的に多い。 |
|---|--|--|--|
- 問12 沖縄県などの南西諸島で見られる伝統的な住居では、屋根の瓦を白っぽい漆喰（しっくい）で固めたり、敷地の周囲をサンゴ礁の石垣で囲んだりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 周辺の森林から野生動物が敷地内に侵入するのを防ぐため | 2. 大規模な地震が発生した際の家屋の倒壊を抑制するため | 3. 夏から秋にかけて頻繁に襲来する台風の強風被害を防ぐため | 4. 冬の厳しい積雪によって屋根が押しつぶされるのを防ぐため |
|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問2	答え 1 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問3	答え 4 長崎県	九州地方北西部に位置するこの県は、五島列島や対馬、壱岐など、日本で最も多いとされる多くの島々を抱えています。そのため、県の面積に対して海岸線の長さが非常に長くなっているのが大きな特徴です。平地が少ない地形を活かし、段々畑でのジャガイモ栽培や、肉用牛の生産といった畜産業も盛んに行われています。
問4	答え 2 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問5	答え 3 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。	シラス台地は火山噴出物からなる地層で、水が地下に浸透しやすく、水田に必要な水を保持しにくいという課題がありました。この不利な土地条件を克服するため、水分が少なくても育つサツマイモや茶の栽培、さらに広大な台地を活かして豚、鶏、肉用牛を育てる畜産業がこの地域の主要な産業として確立されました。
問6	答え 1 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。	沖縄県は全国で最も高い出生率を背景に、統計上で人口増減率がプラスを示す特徴があります。産業面では、輸送コストや電力供給の制約から大規模な重化学工業が発達しにくいと、製造品出荷額は低くなります。その一方で、肉用牛や豚などの畜産業、さらにはサンゴ礁の発達した海域での海面漁業など、地域の自然環境を活かした第一次産業が統計上の特色となっています。北海道や鹿児島県も畜産業や漁業が盛んですが、人口増減率の傾向が異なります。
問7	答え 4 促成栽培	宮崎県などの温暖な地域では、冬から春にかけて野菜を出荷できるよう、ビニールハウスなどで成長を促進させる促成栽培が行われます。これは、需要が高く供給が少ない時期に出荷することで、市場価格が高い状態での販売を目的とした工夫です。
問8	答え 2 県庁所在地の福岡市には政府の出先機関や企業の支店が集中し、工業面では近年、内陸部を中心に自動車工業などの組み立て型工業が発展している。	福岡市は九州地方の広域行政や経済の拠点としての役割を果たしており、多くの公的機関や企業の支店が集まる三次産業の強い都市です。一方で、二次産業である工業に目を向けると、かつての重化学工業偏重から脱却し、自動車工業などの成長産業が内陸部に展開したことで、30年間で40%を超える高い出荷額の伸びを記録しました。
問9	答え 3 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。	鹿児島県には、過去の火山活動による噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広がっています。この地質は非常に水はけが良く、稲作に必要な水を保持しにくいという性質があるため、伝統的に水田よりも畑作が盛んになりました。現在では、この広大な土地を利用して、サツマイモや茶などの畑作、そして肉用牛や豚、鶏などの畜産が大規模に行われており、日本の食料供給基地としての役割を担っています。
問10	答え 2 カルデラ	九州地方の阿蘇山などに代表される地形で、ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉に由来しています。大規模な噴火によって地表が陥没することで形成され、その内部に平坦な土地が広がるのが特徴です。周囲を山に囲まれた「盆地」と形状は似ていますが、火山の活動が直接的な原因となって形成される点で区別されます。
問11	答え 1 夏と冬の気温の差が小さく、年間の降水量は2000mmを超えており、特に梅雨の時期の降水量が多い。	鹿児島市の気候は、日本の南に位置することから温暖で、季節による気温の差が比較的小さいのが特色です。降水面では、梅雨の時期（6月～7月）に湿った空気が流れ込みやすく、月間降水量が400mmを超えるほど激しい雨が降ることがあります。これにより、年間降水量は2000mmを超える水準に達し、日本海側や内陸部の都市よりも多い雨量となります。
問12	答え 3 夏から秋にかけて頻繁に襲来する台風の強風被害を防ぐため	沖縄県をはじめとする南西諸島は、夏から秋にかけて発生する台風の進路にあたることが多く、古くから強風による被害を受けてきました。屋根の瓦を漆喰で固定するのは風で飛ばされないようにするためであり、サンゴ礁を利用した石垣は風を遮る防風壁の役割を担っています。これらは地域の気象条件に寄り添った伝統的な知恵といえます。